



イノベーションで先へ行く!走れ!未来へ
ON THE RUN!

エラストマーで新事業の領域へ。
そこは時代の少し先にあります。

●医療機器・ヘルスケア機器 ●電子資材 ●新ソリューション

2022年3月期 決算説明会
2022年5月23日
バンドー化学株式会社

- I . 2022年3月期 決算概要
- II . 2023年3月期 業績予想
- III . 中長期経営計画の取り組み
“Breakthroughs for the future”2ndステージ
- IV . 参考資料

I . 2022年3月期 決算概要

2022年3月期 決算ハイライト

(単位：百万円、%)

		2021/3	2022/3			
		実績	実績	前期比	業績予想値	達成率 (対業績予想値)
売上収益		81,371	93,744	+12,373	90,000	104.2%
コア営業利益		4,938	5,880	+941	6,000	98.0%
コア営業利益率		6.1%	6.3%	+0.2%	6.7%	
営業利益		5,377	2,665	△2,711	6,500	41.0%
税引前当期利益		5,618	3,414	△2,204		
親会社の所有者に 帰属する当期利益		3,943	1,211	△2,732	4,500	26.9%
為替レート	U S D	105.93	113.05		109.06	
	T H B	3.41	3.45		3.40	
	人民元	15.65	17.65		16.94	

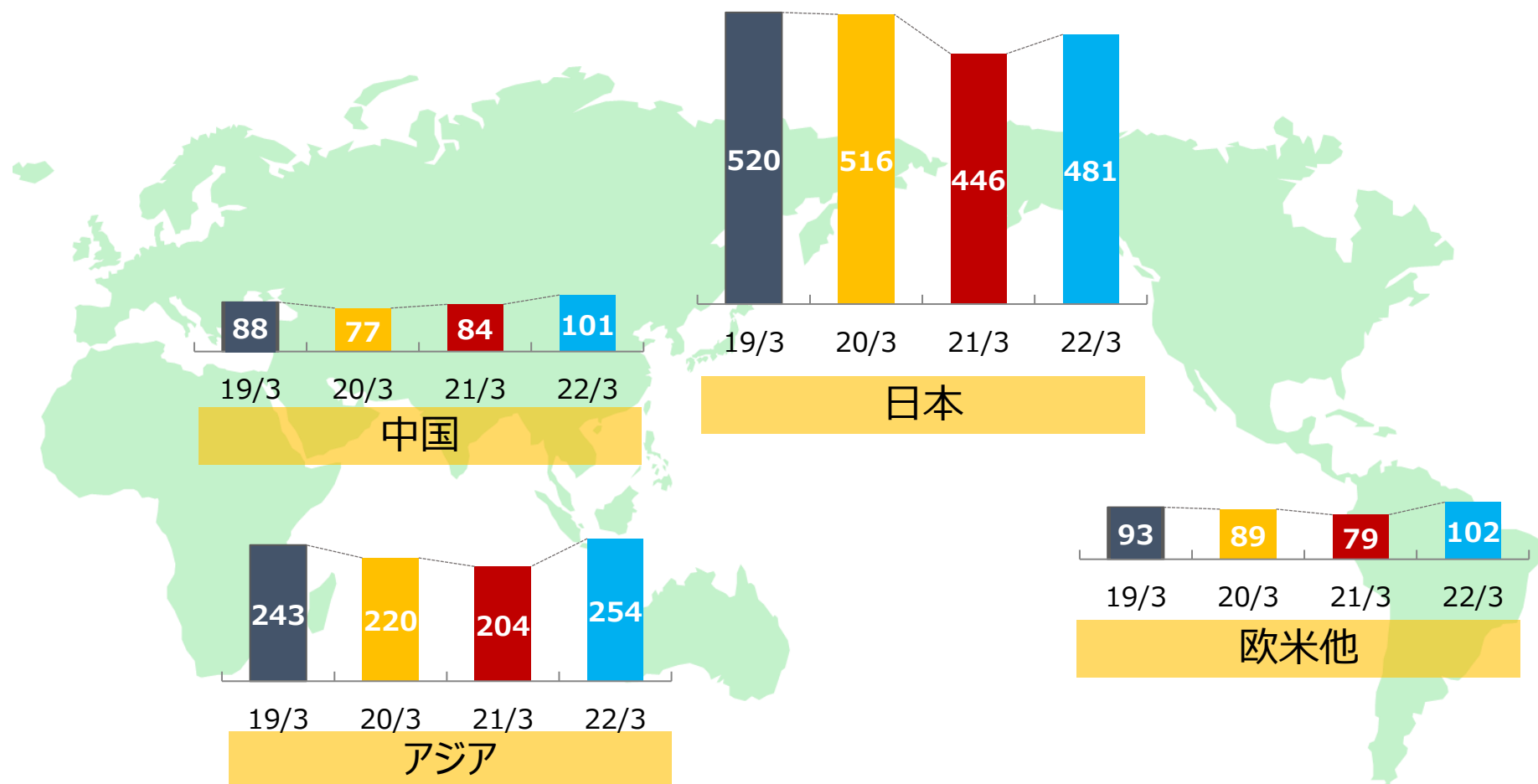
当第4四半期に計上した一時的な損失の業績影響

(単位：百万円)

	賞与制度の変更	のれんの減損損失	その他の減損損失 (米国等)	合計
コア営業利益	△1,349	-	-	△1,349
営業利益	△1,349	△4,022	△305	△5,676
税引前当期利益	△1,349	△4,022	△305	△5,676
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△924	△4,022	△298	△5,245

2022年3月期 所在地別売上収益

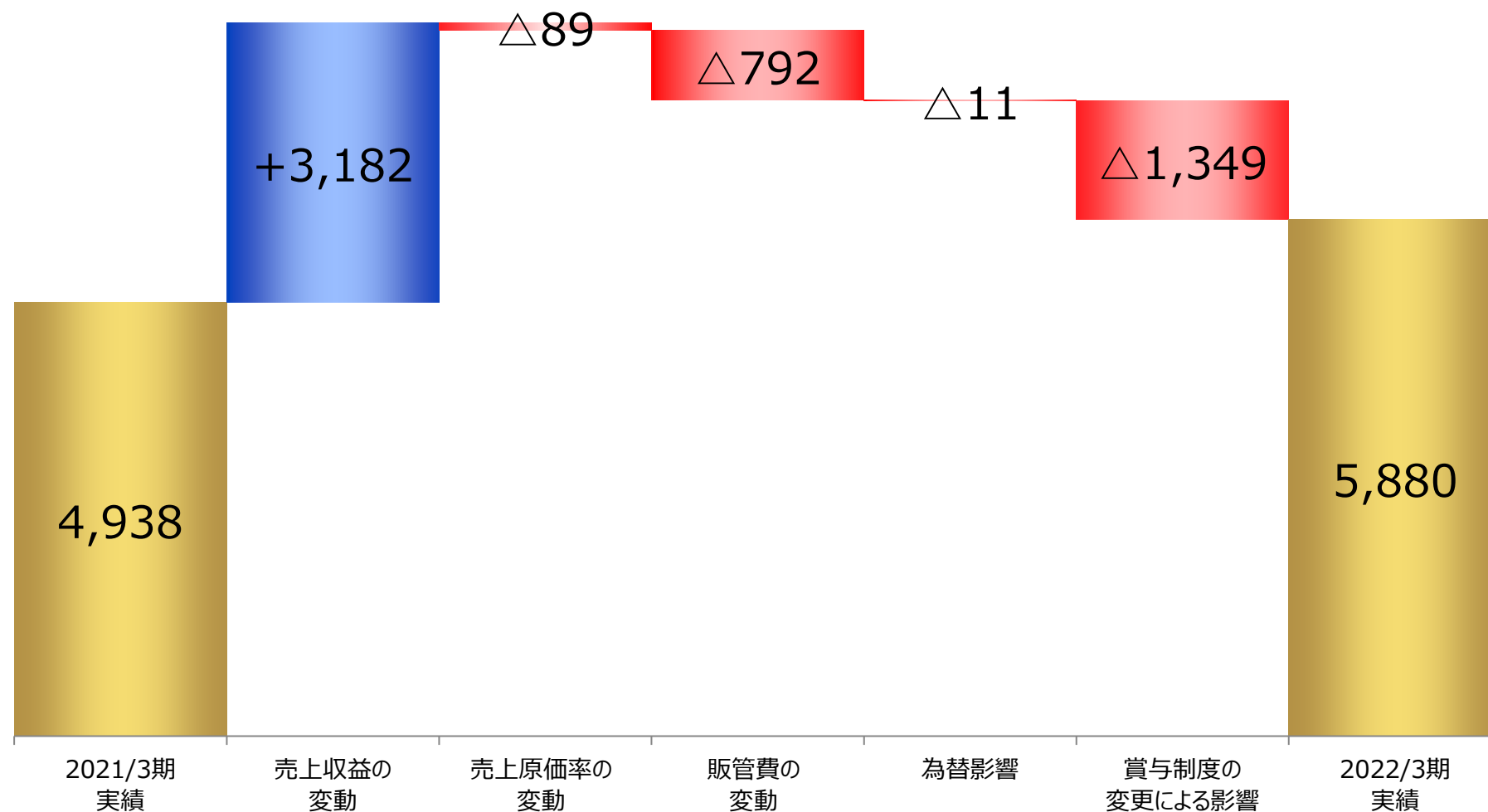
(単位：億円)



(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

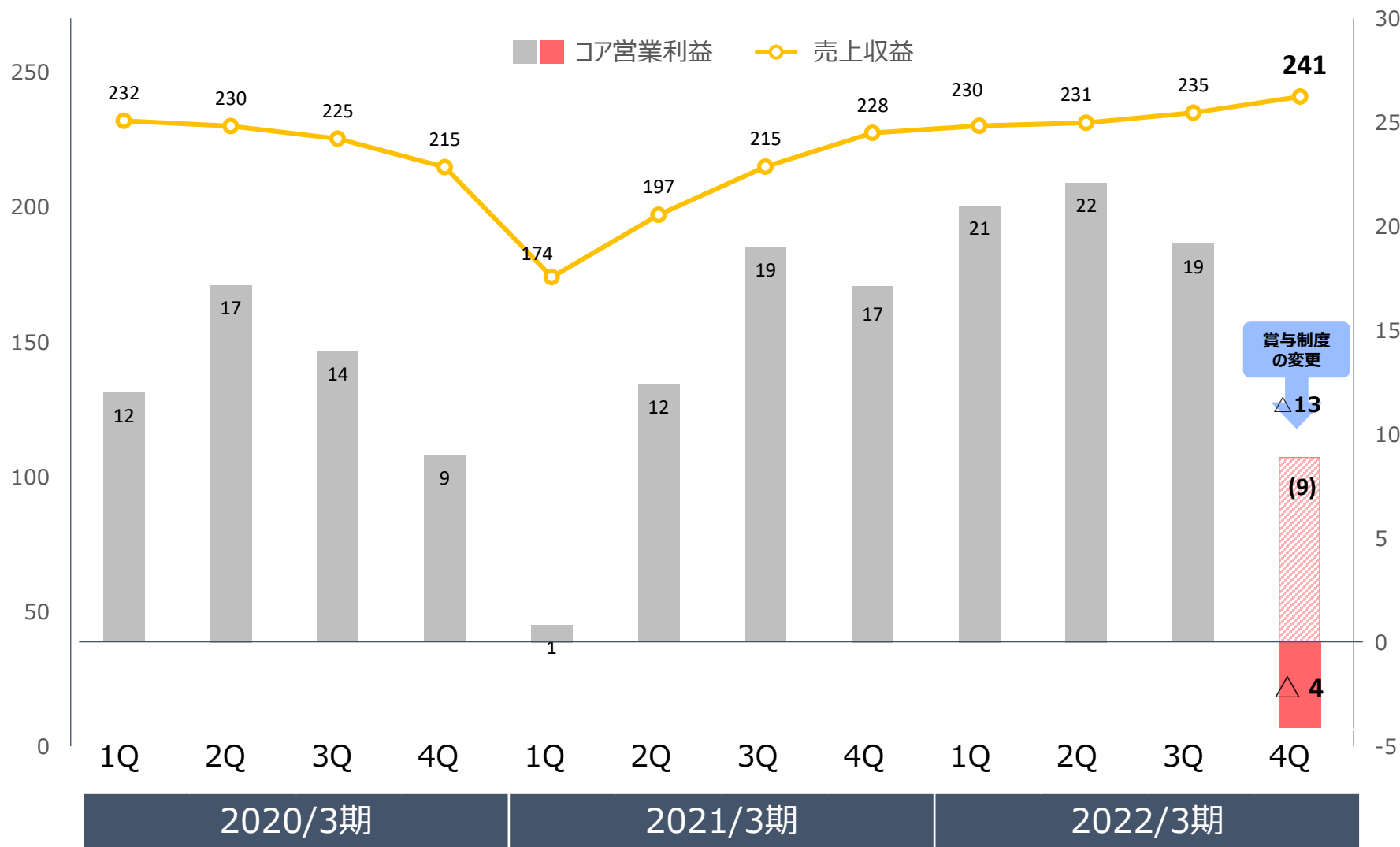
2022年3月期 連結コア営業利益 増減分析

(単位：百万円)



四半期推移（売上収益/コア営業利益）

(単位：億円)



2022年3月期 セグメントの状況



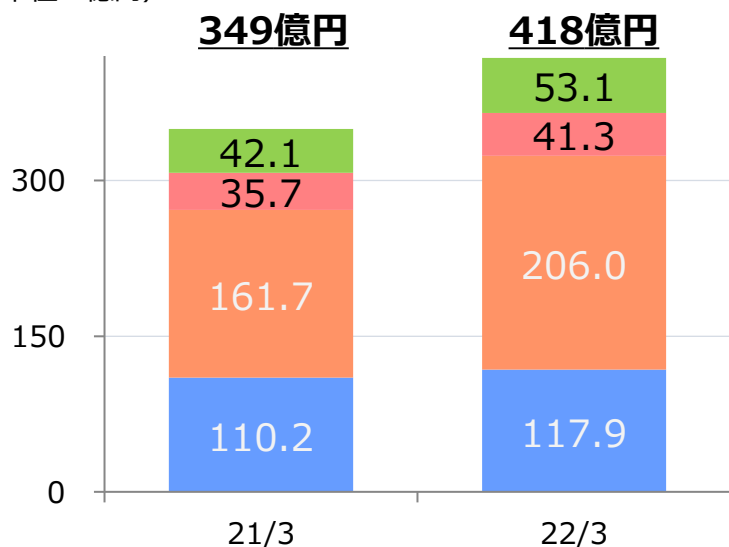
(単位：百万円)

	2021/3	2022/3		
	実績	実績	増減額	増減割合
売上収益	81,371	93,744	+12,373	+15.2%
自動車部品事業	34,975	41,829	+6,854	+19.6%
産業資材事業	30,232	33,301	+3,069	+10.2%
高機能エラストマー製品事業	11,883	13,998	+2,114	+17.8%
その他	5,368	5,554	+186	+3.5%
セグメント間消去	△1,087	△939	+148	—
コア営業利益	4,938	5,880	+941	+19.1%
自動車部品事業	2,386	2,741	+354	+14.9%
産業資材事業	2,238	2,688	+449	+20.1%
高機能エラストマー製品事業	△129	280	+409	—
その他	339	304	△34	△10.2%
セグメント間消去等	103	△134	△238	—

自動車部品事業 概要

所在地別売上収益

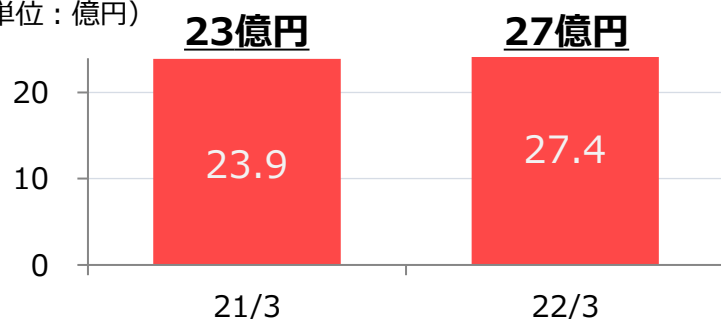
(単位：億円)



欧米他 (+26.0%)	■ 自動車生産台数の回復により、販売が増加。
中国 (+15.7%)	■ 主要顧客の生産台数の増加や補修市場への拡販により補機駆動用伝動ベルトなどの販売が増加。
アジア (+27.4%)	■ 自動車生産台数の回復により、販売が増加。 ■ 二輪車用変速ベルトの販売も増加。
日本 (+7.1%)	■ 積極的な営業活動により、補修市場向けの販売が増加。 ■ 主要顧客である自動車メーカー向け補機駆動用伝動ベルトおよび伝動システム製品の販売が増加。

コア営業利益

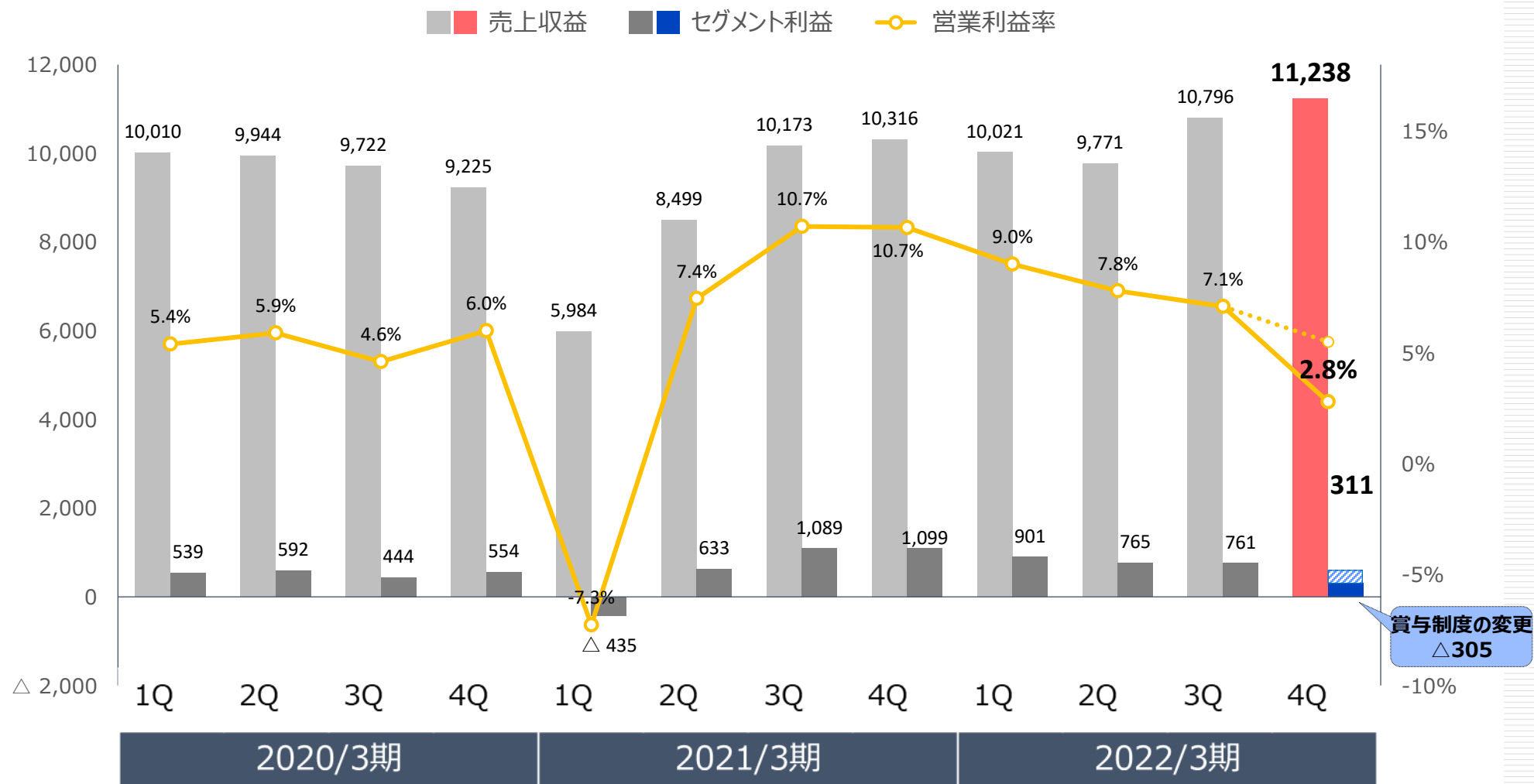
(単位：億円)



コア営業利益 (+14.9%)	■ 販売の増加により、利益が増加。
--------------------	-------------------

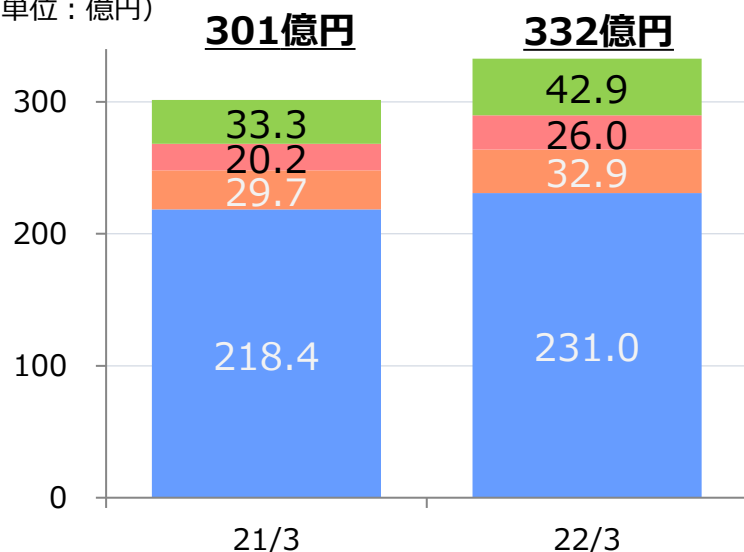
自動車部品事業 四半期推移

(単位：百万円)



所在地別売上収益

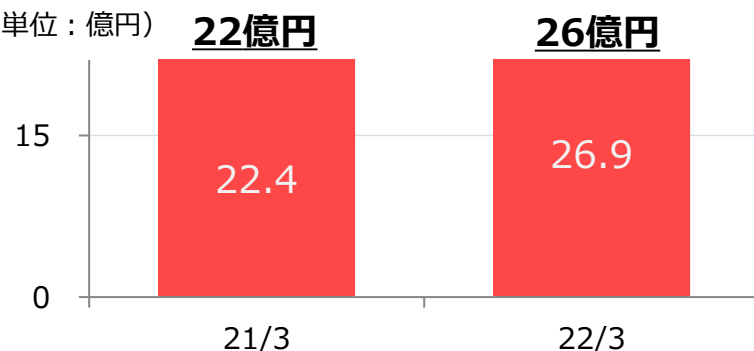
(単位：億円)



欧米他 (+29.1%)	■米国・トルコにおいて、産業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
中国 (+28.8%)	■農業機械用および産業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
アジア (+10.8%)	■農業機械用および産業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
日本 (+5.7%)	■ 民間設備投資需要の増加により、産業機械用伝動ベルトの販売が増加したことに加え、農業機械用ベルトの販売も増加。 ■ 樹脂コンベヤベルトの販売が増加。

コア営業利益

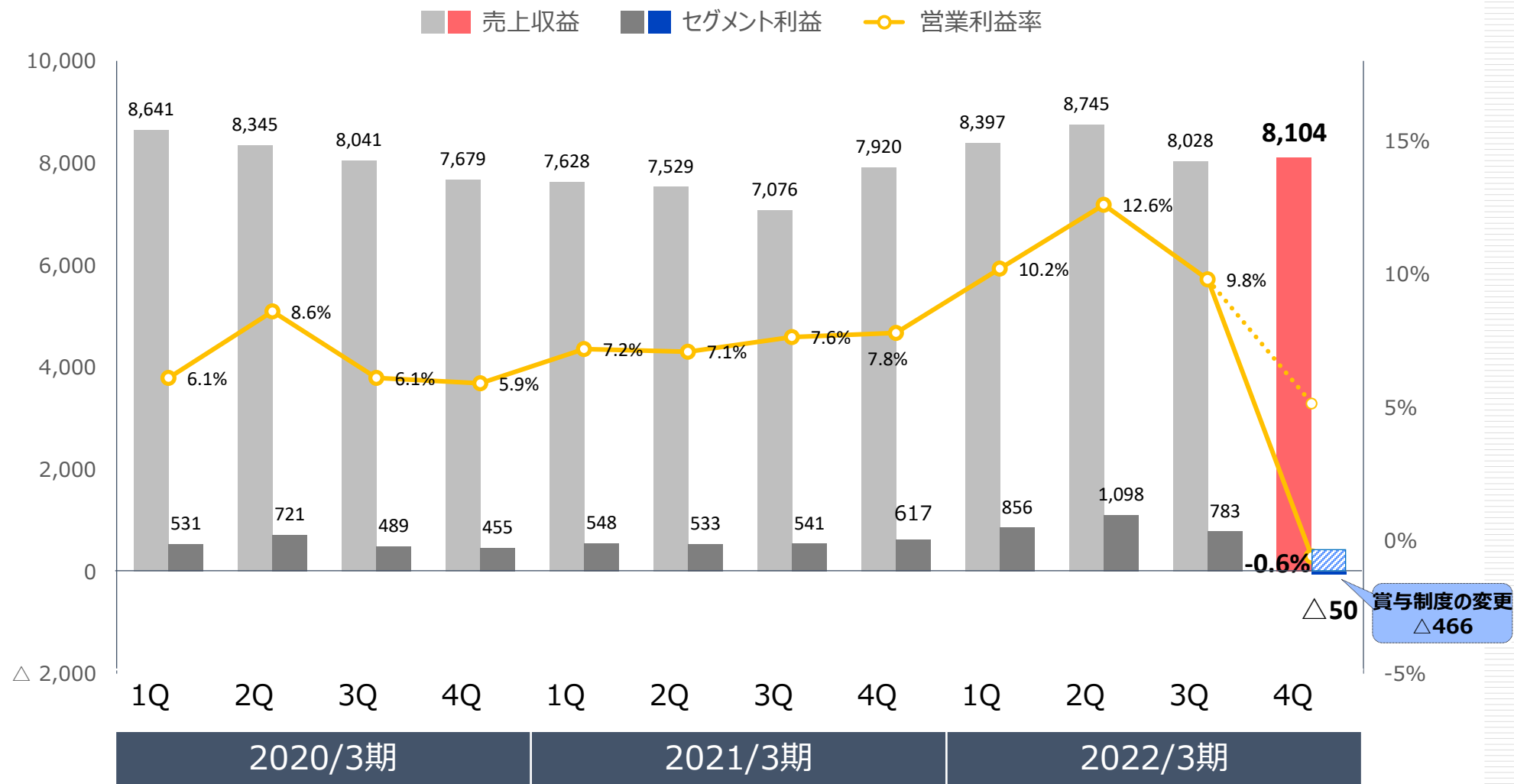
(単位：億円)



コア営業利益 (+20.1%)	■ 販売の増加により、利益が増加。
--------------------	-------------------

産業資材事業 四半期推移

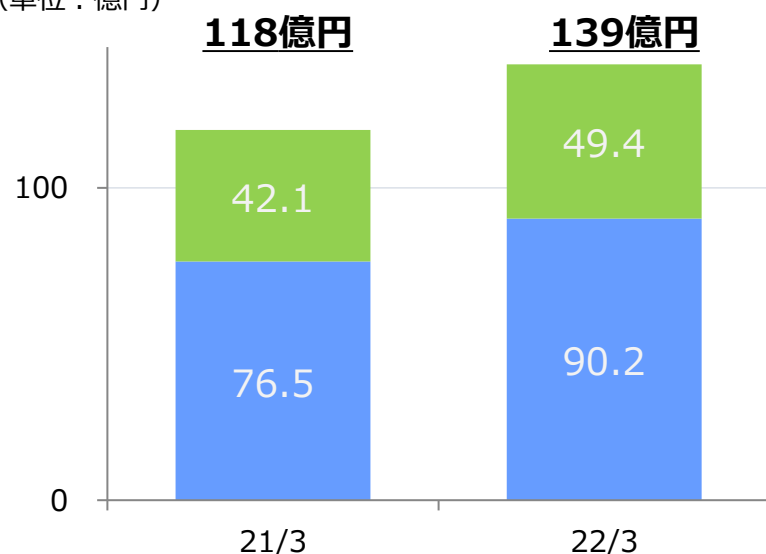
(単位：百万円)



高機能エラストマー製品事業 概要

事業別売上収益

(単位：億円)



機能フィルム
(+17.4%)

精密機能
部品
(+17.9%)

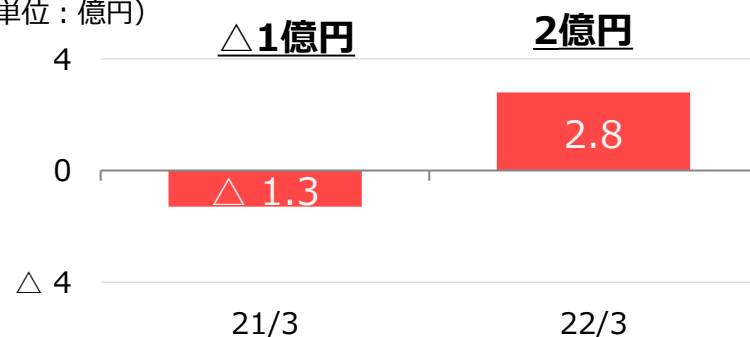
■新型コロナウイルス感染症の影響により一時停滞していた需要が回復したこともあり、建築資材用フィルムの販売が増加。

■医療用、工業資材用および装飾表示用フィルムなどの販売も増加。

■主要顧客の生産回復により、精密ベルト、高機能ローラおよびブレードなどの販売が増加。

コア営業利益

(単位：億円)

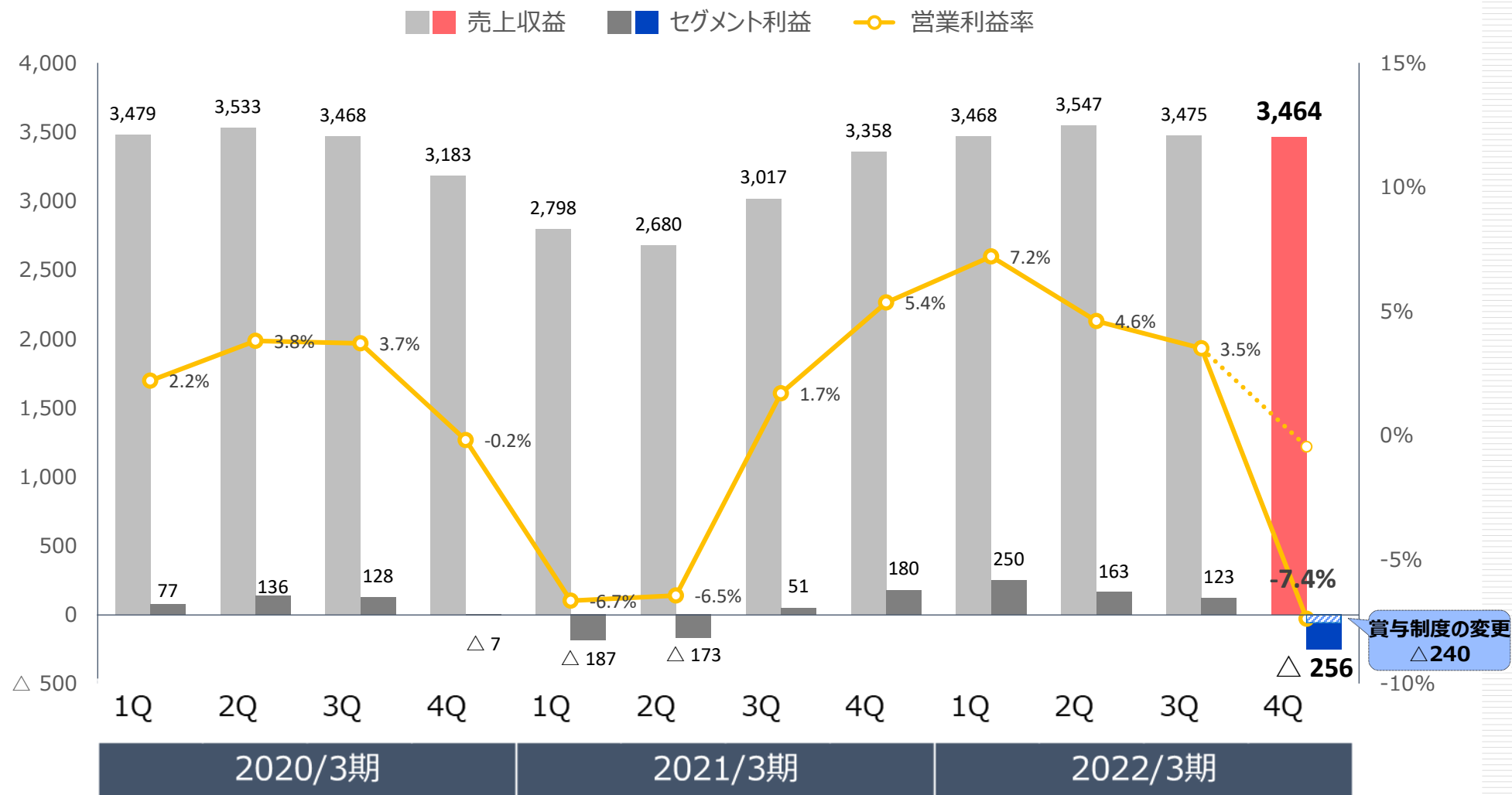


コア営業利益
(+4億円)

■ 販売の増加により、利益が増加。

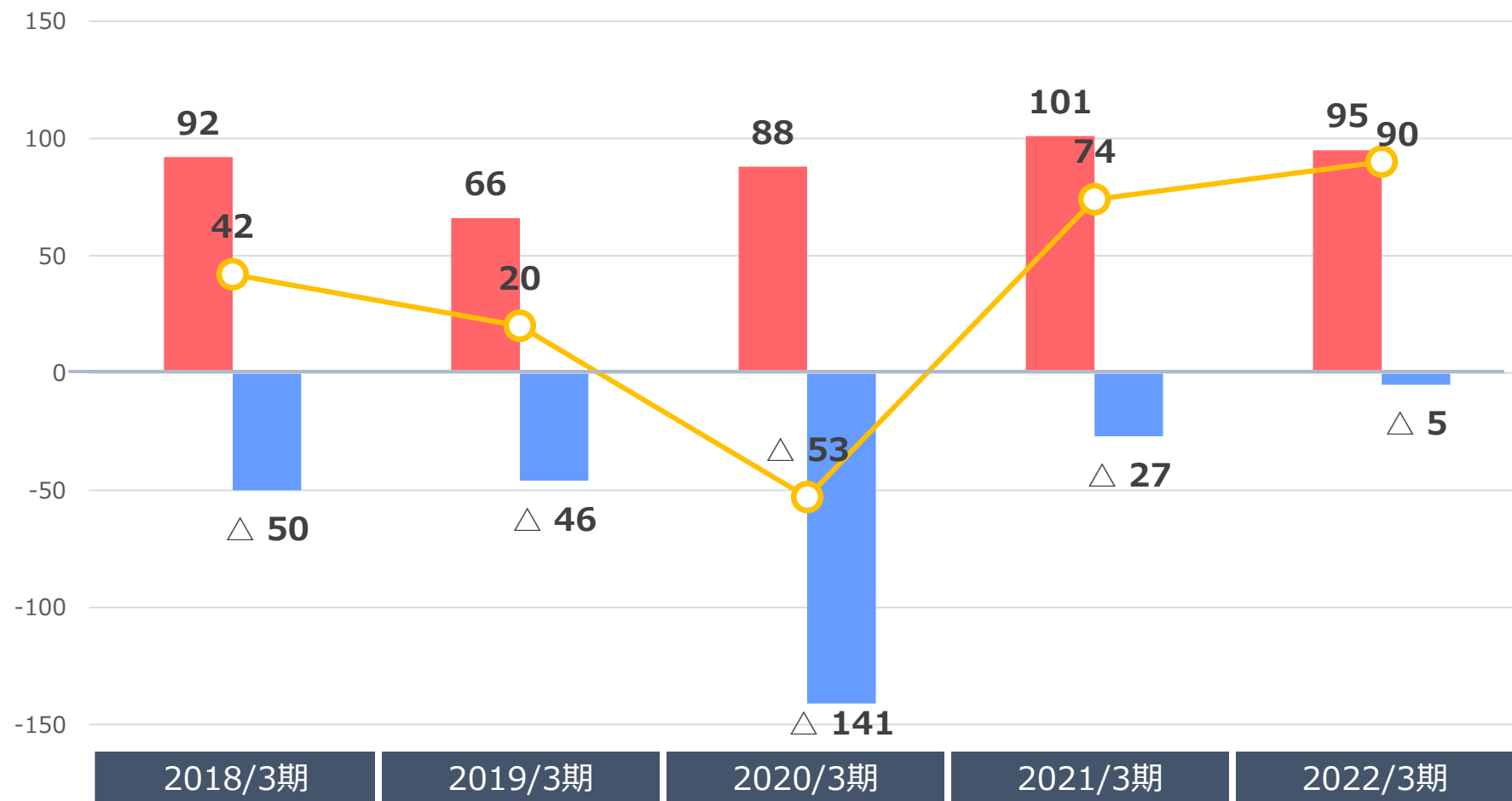
高機能エラストマー製品事業 四半期推移

(単位：百万円)



キャッシュ・フロー（CF）の推移

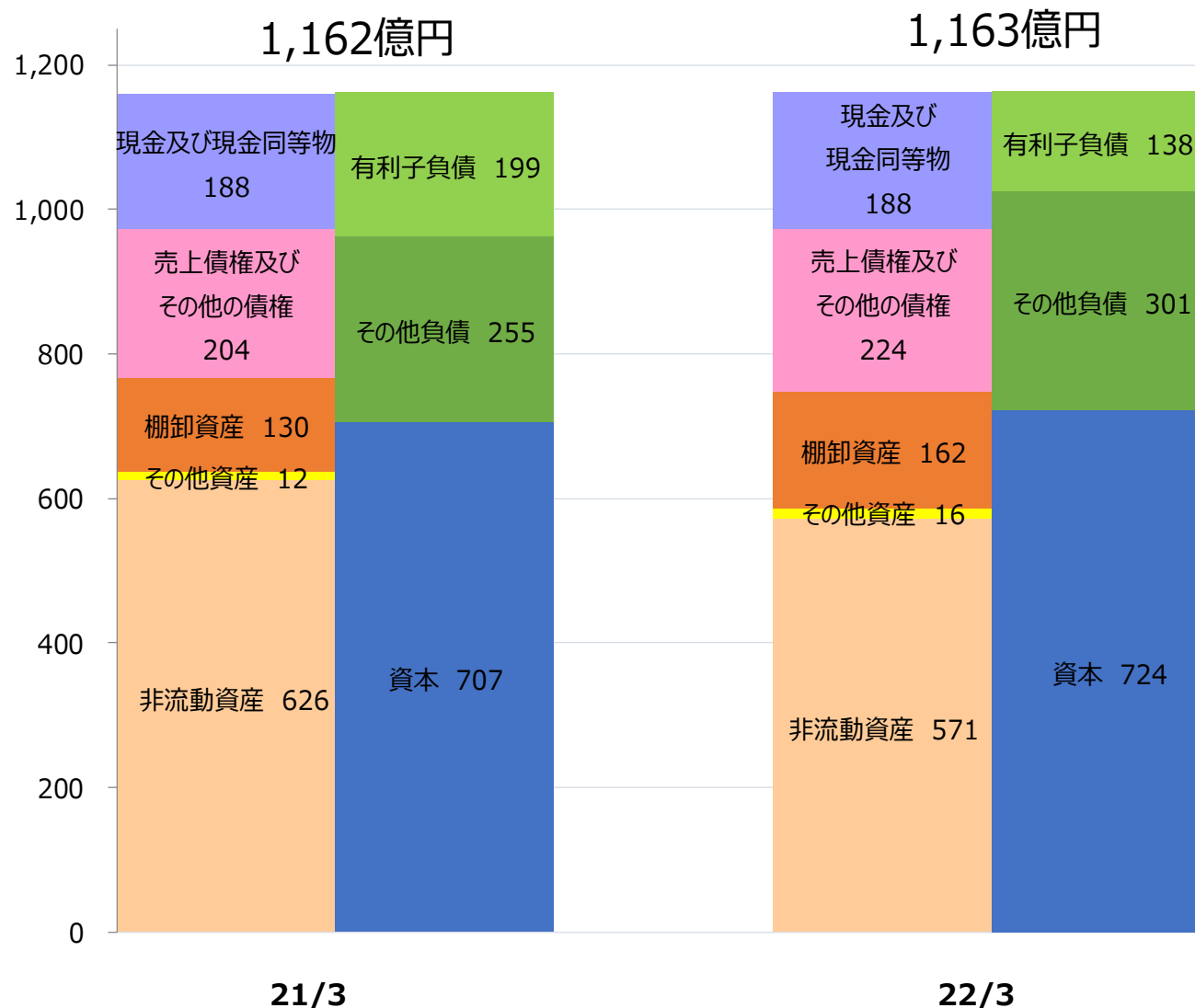
(単位：億円) ■ 営業活動 ■ 投資活動 ● フリーCF



※ 1 20/3期の投資活動によるCFには、株式会社Aimedica MMTの取得による支出（92億円）が含まれております。

連結財政状態計算書

(単位：億円)



資産

- ・増収に伴う売上債権および棚卸資産の増加 (+52億円)
- ・政策保有株式を売却したこと等に伴う非流動資産の減少 (△54億円)

負債

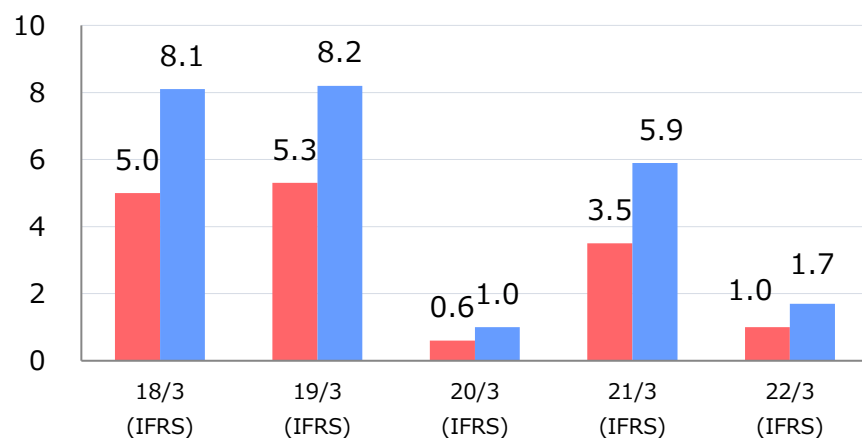
- ・有利子負債の削減 (△61億円)
- ・賞与制度の変更に伴う未払賞与の計上等 (+13億円)

資本

- ・利益剰余金の増加 (+6億円)
- ・円安等に伴うその他の資本の構成要素の増加 (+19億円)
- ・自己株式の取得による減少 (△9億円)

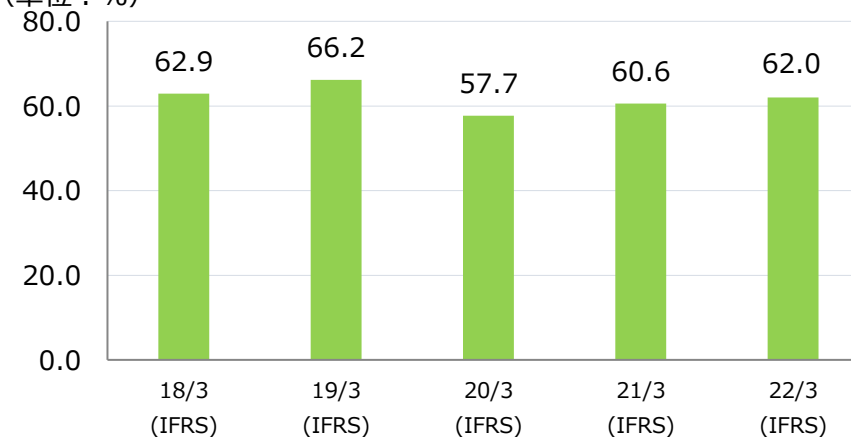
ROA / ROE

(単位：%) ROA ROE



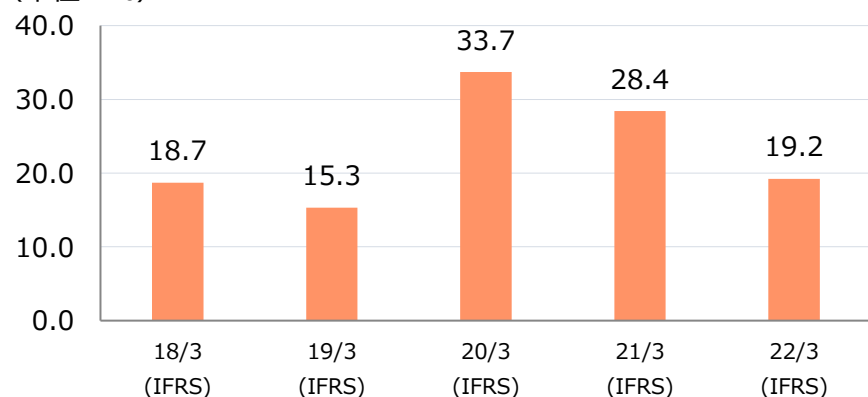
親会社所有者帰属持分比率（自己資本比率）

(単位：%)



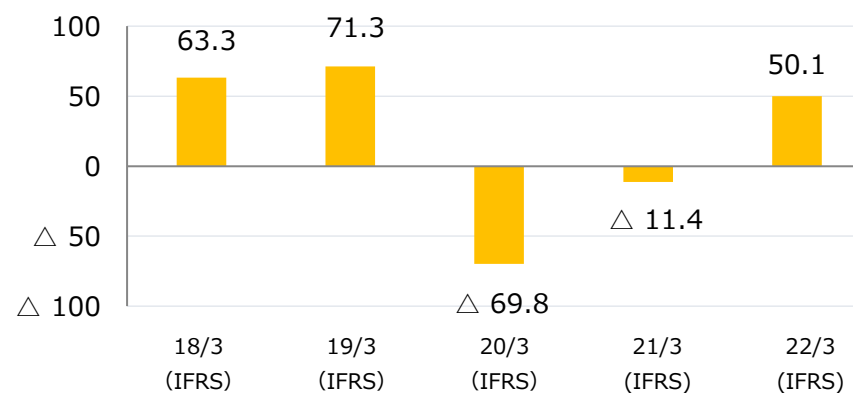
D/Eレシオ

(単位：%)



ネットキャッシュ／純有利子負債

(単位：億円)



主なトピックス

2021年	4月	● 和歌山工場「災害ボランティアセンター設置場所に関する協定」等を締結	 ミスターProジッパー®	 ミスターバンシール®
	5月	● 樹脂製レーシングエンドレス加工「ミスターProジッパー®」を販売開始 ● 耳ほつれ防止加工「ミスターバンシール®」を販売開始		
	6月	● 「C-STRETCH®」を活用した呼吸器領域初の医療機「ResMo®」を販売開始	 Ceptor®-X Plus	 ResMo®
	7月	● 「紙幣/カード搬送用歯付ベルト UVH仕様」を販売開始		
	9月	● 高負荷対応歯付ベルト「Ceptor®-X Plus」を販売開始		 B4S™
	10月	● 嚥下運動モニタ「B4S™」を販売開始		
2022年	2月	● 食品衛生法ポジティブリスト適合証明書 ダウンロードサイトを開設		
	3月	● 伸縮性ひずみセンサ計測システム「C-STRETCH MEASURE」の販売受付開始 ● ESG総合型指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定	 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index	

※「C-STRETCH」は、バンドー化学株式会社の登録商標です。

Ⅱ． 2023年3月期 業績予想

2023年3月期 業績予想



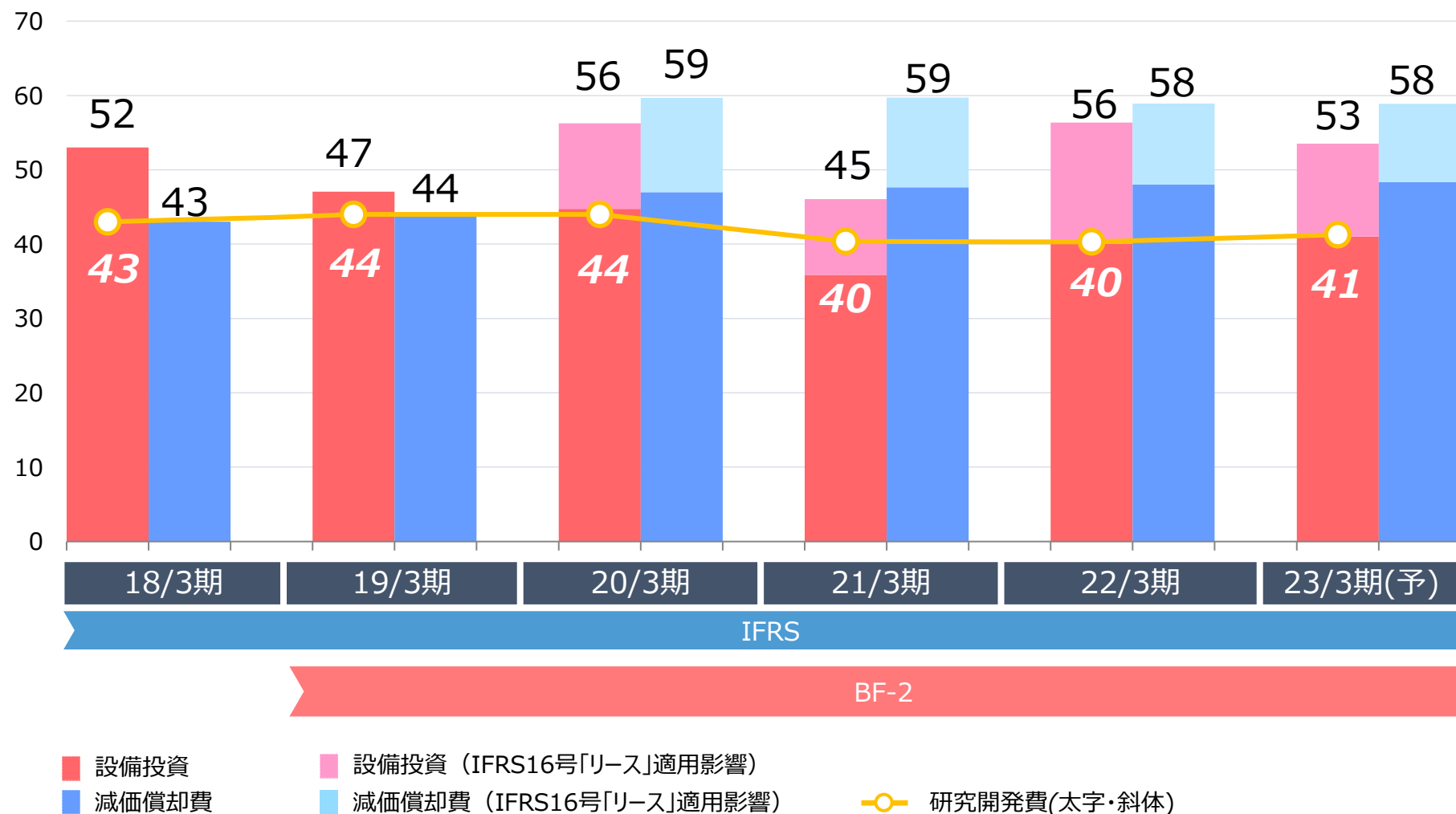
(単位：百万円、%)

	2022/3 実績	2023/3			
		予想	前期比	中計目標値	業績予想との差異
売上収益	93,744	95,000	+1,255	120,000	△25,000
コア営業利益	5,880	7,000	+1,119	12,000	△5,000
営業利益	2,665	7,500	+4,834		
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,211	5,000	+3,788		
為替レート	USD	113.05	120.00		
	THB	3.45	3.60		
	人民元	17.65	18.80		

- 景気回復が続いており、賞与制度の変更などの一時的な損失がなくなることもあって、増収増益を見込む
- 足元、原材料価格が急騰しており、サプライチェーンの混乱や地政学的リスクの顕在化など、下振れリスクは依然残る

設備投資額、減価償却費および研究開発費の推移

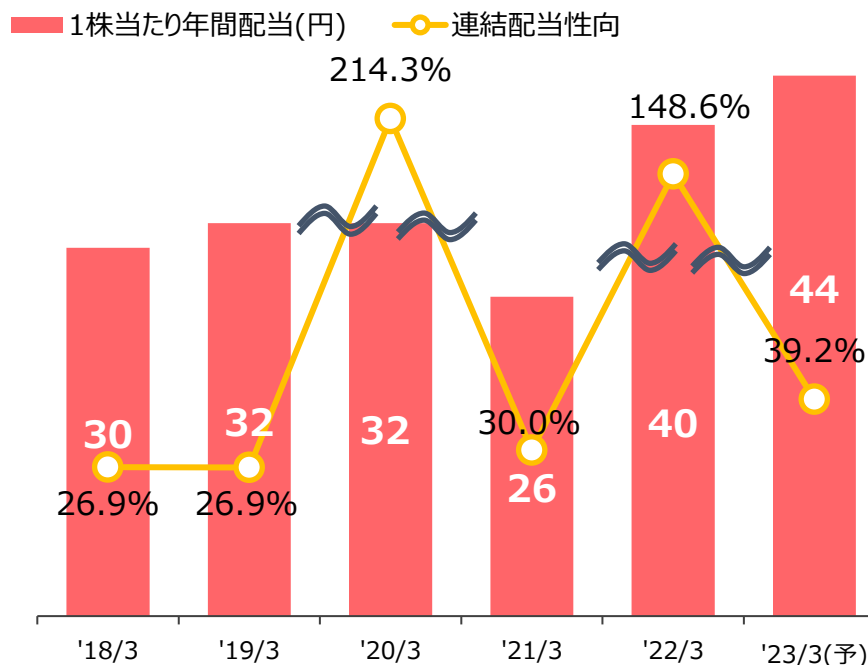
(単位：億円)



基本方針

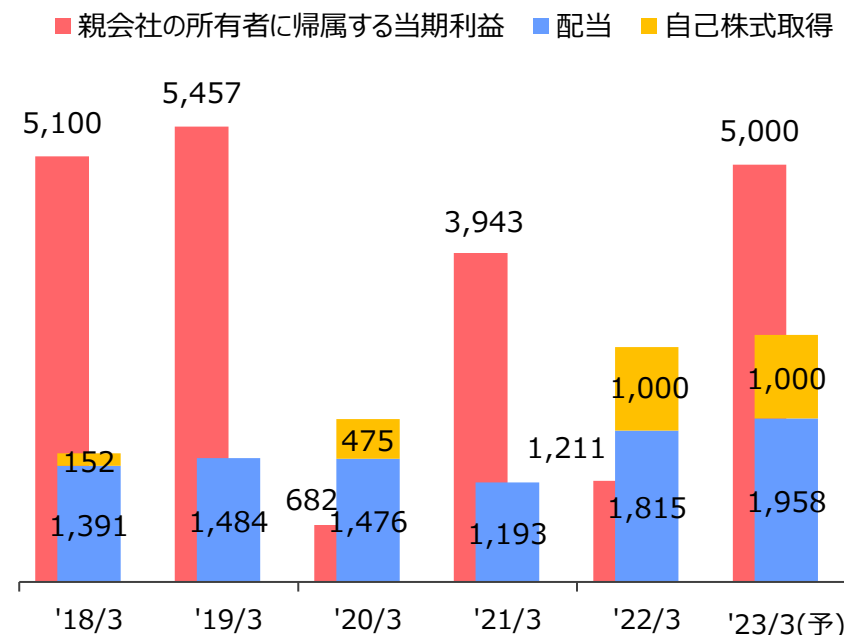
収益および財務状況に配慮しつつ、**当面の間、1株当たり年間配当金額26円を下限として、連結配当性向40%を目処に安定した利益配当を行うことを目標とし、利益還元の充実に努める。**

1株当たり年間配当・連結配当性向の推移



株主総還元の推移

(単位：百万円)

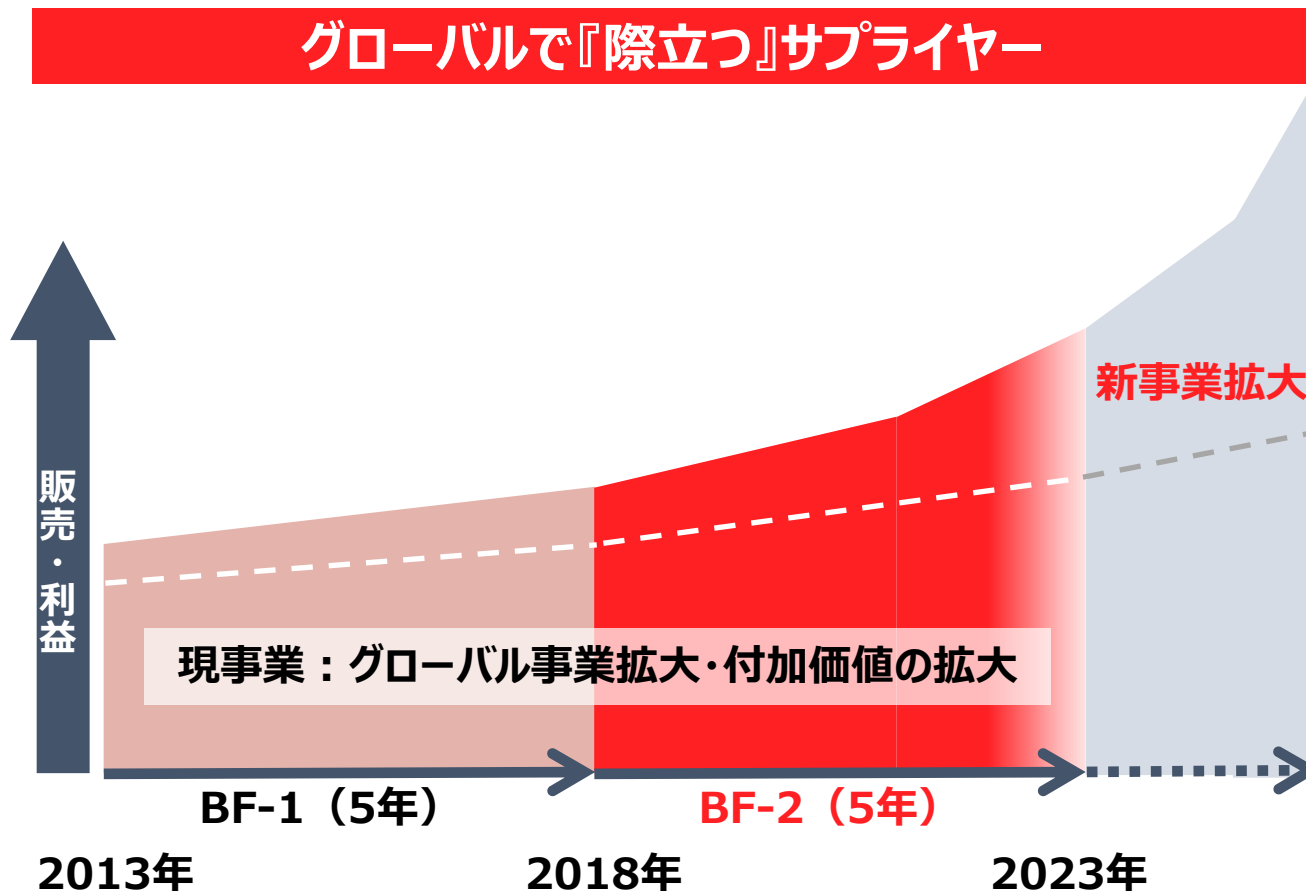


Ⅲ. 中長期経営計画の取り組み

“Breakthroughs for the future”2ndステージ

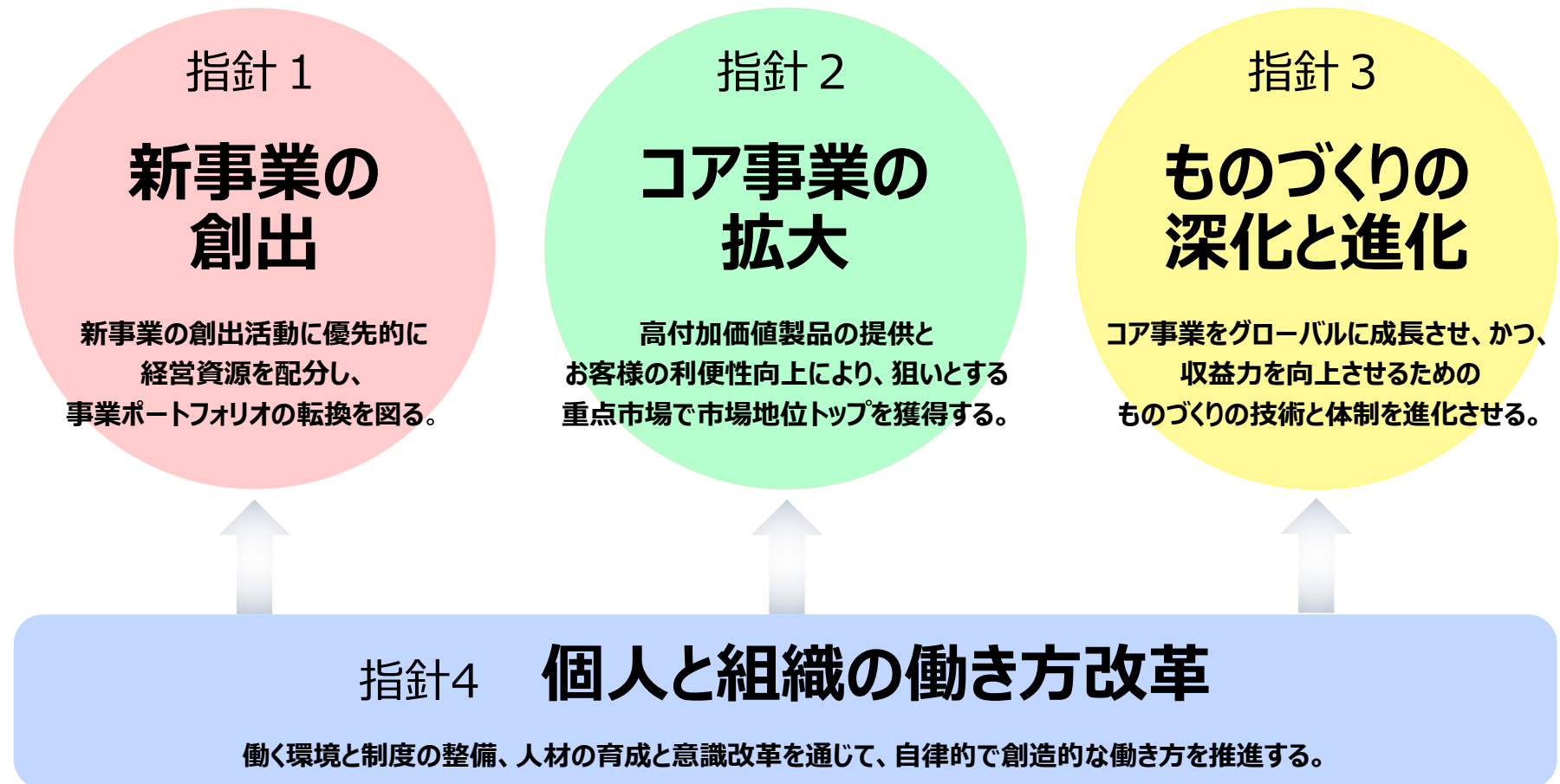
中長期経営計画 “Breakthroughs for the future” 『未来への躍進』

グローバルで『際立つ』サプライヤー



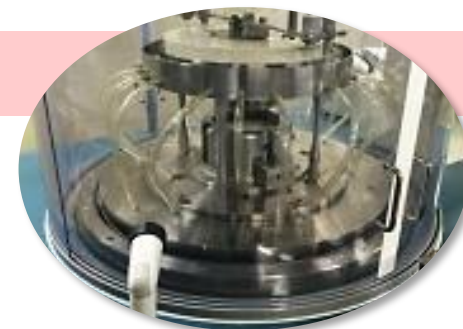
- **事業領域**
ベルトおよび機能製品分野
事業展開はグローバル
- **キーワード**
「環境・省エネ・高機能」
キラリと光る付加価値製品の提供
- **ゴム・エラストマー・樹脂の**
「コア技術」と「信頼の品質」
を活用

新事業と現事業の両輪で持続的に成長



販売は伸長しているが、期待水準にまで達しておらず、 課題の刈り取りを進め、収益拡大を狙う

精密研磨材「TOPX®」



「ディスプレイ（ガラス基板）」

- 販売増も、プロジェクト遅延の影響等により、目標未達
- 評価案件数は増加、採用拡大に向けて対応中

「ストレージ、難削材対応等」

- 事業の安定化に向けてストレージ分野、特殊ガラス研磨用途等で開発を継続中

光学用透明粘着剤「Free Crystal®」



- 自動車用途、産業用途ともに販売が伸長
- 受注先数・受注案件数ともに増加しており、さらなる拡販を目指す

連続した新製品の上市と、ブランド認知度向上により事業拡大を推進

2021年度の主な取り組み状況

呼吸数計測モニター 「ResMo[®]」

医療機器

- 主に呼吸リハビリテーション施設での利用を想定
- 呼吸数を客観化（数値化）



嚥下運動可視化モニター 「B4S[™]」

ヘルスケア機器

- 主にリハビリテーション施設での利用を想定
- 嚥下運動の可視化による訓練モチベーションの向上



簡易計測キット 「C-STRETCH MEASURE」

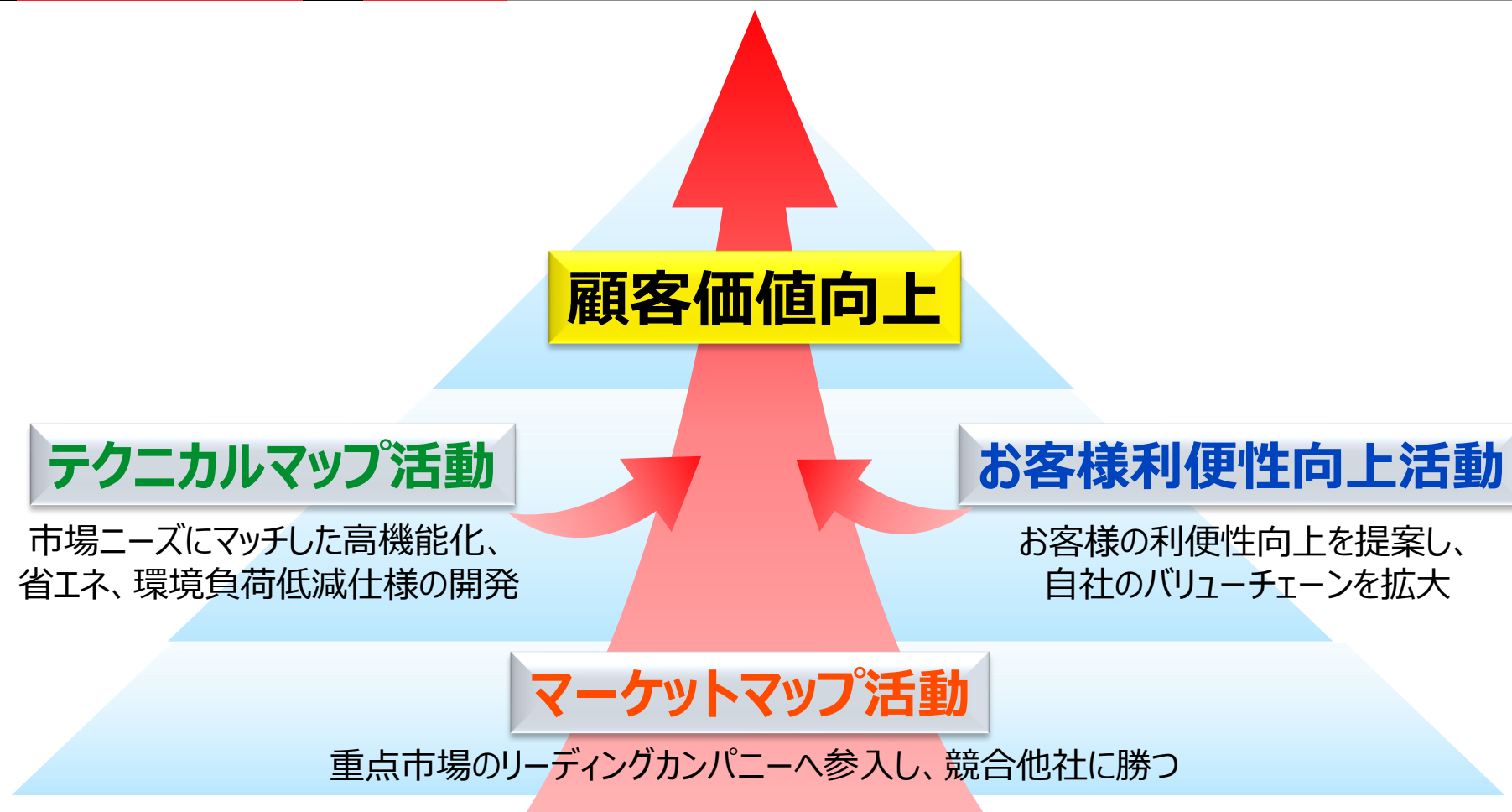
- 「C-STRETCH[®]」を使用した研究開発・評価の効率化



今後の課題

- 大型案件（整形外科向けインプラント製品）のスケジュールに沿った上市
- 先を見据えた開発課題の探索

収益力のさらなる強化に向けて、
『重点業種×地域』で市場地位トップの獲得に向けた活動を推進



指針2：コア事業の拡大

自動車部品事業

グローバル四輪補修市場への拡販

- 中国では、代理店の加入件数が増加、拡販が伸長
- 米国では大手小売チェーンへのレギュラー販売拡大



ベルト駆動システムの適用領域拡大

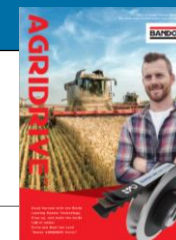
- ラック式EPSベルトの新規案件の採用が拡大、さらなる受注獲得に向けて、対応継続
- その他の領域でも評価対応中



産業資材事業

グローバルでの農機市場への拡販

- アジア、中国を中心に需要増加
- 大型農機向けでは中国ローカルメーカー向け販売増加



デジタルマーケティングの推進

- 特設サイト「BANDO SHOWROOM」の拡充やWebinarの活用拡大



高機能エラストマー製品事業

四輪内装加飾フィルムの採用拡大

- 市場地位の確立に向けて、採用モデルが増加
- 環境対応や意匠性を武器に販売拡大

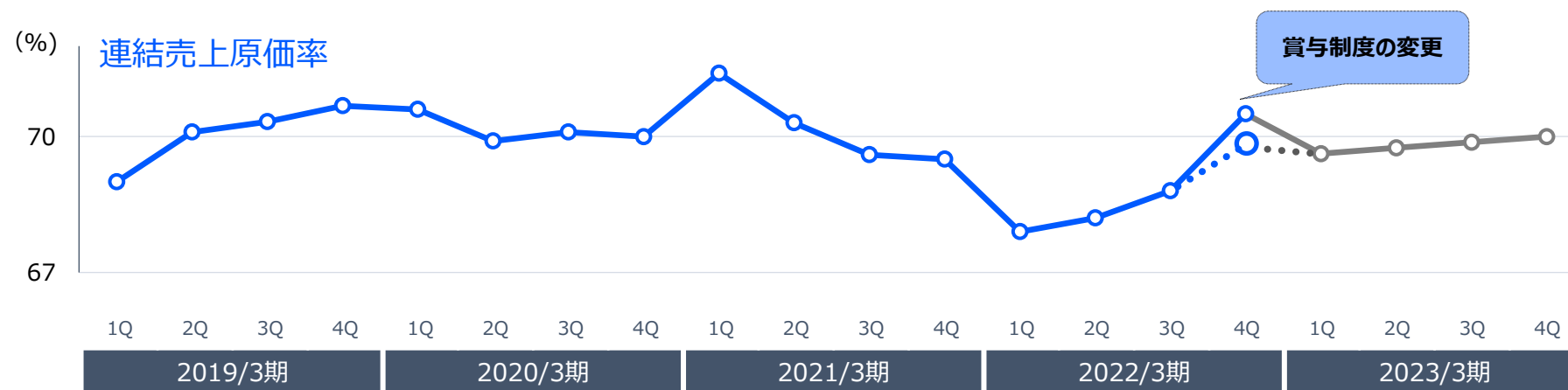


コンシューマー用OA機器向け案件の受注増加

- 在宅勤務を背景に需要増、高付加価値製品を武器にシェアアップ



コスト高の環境下でも売上原価率70%以下を維持する



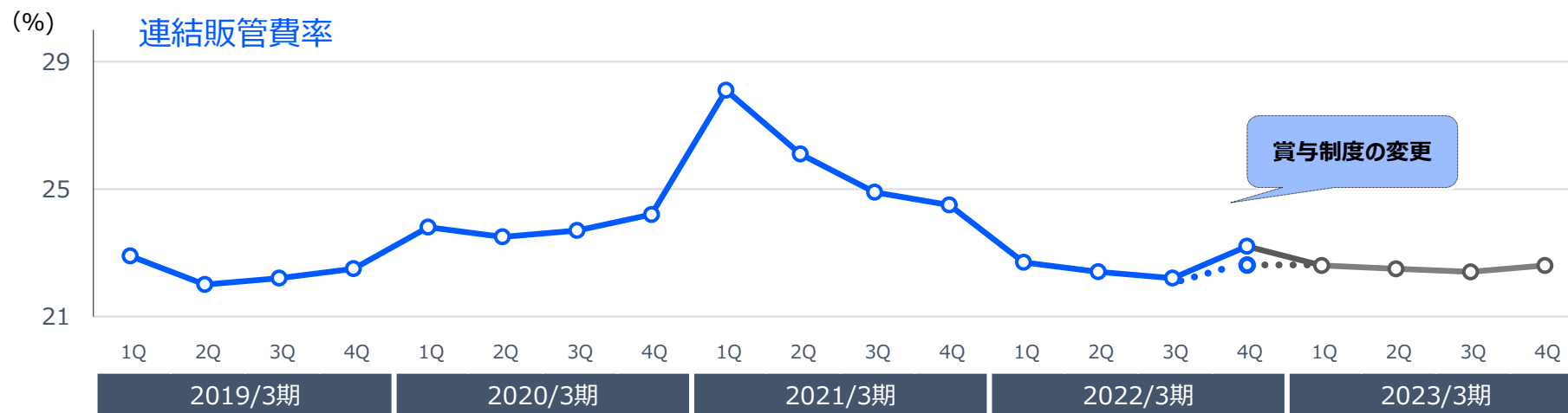
プロダクトマップ活動による コスト構造の見直し

- 製造拠点における不良・ロス削減・生産性向上の推進
- グローバル生産体制の見直し検討

収益性の改善

- 不採算製品の廃止や高付加価値製品の投入等によるセールスマックスの改善
- 原材料価格・物流費等の高騰に対してさらなる価格転嫁を検討

自律的で創造的な働き方を推進し、販管費率の逡減に努める



ワークスタイルの変革

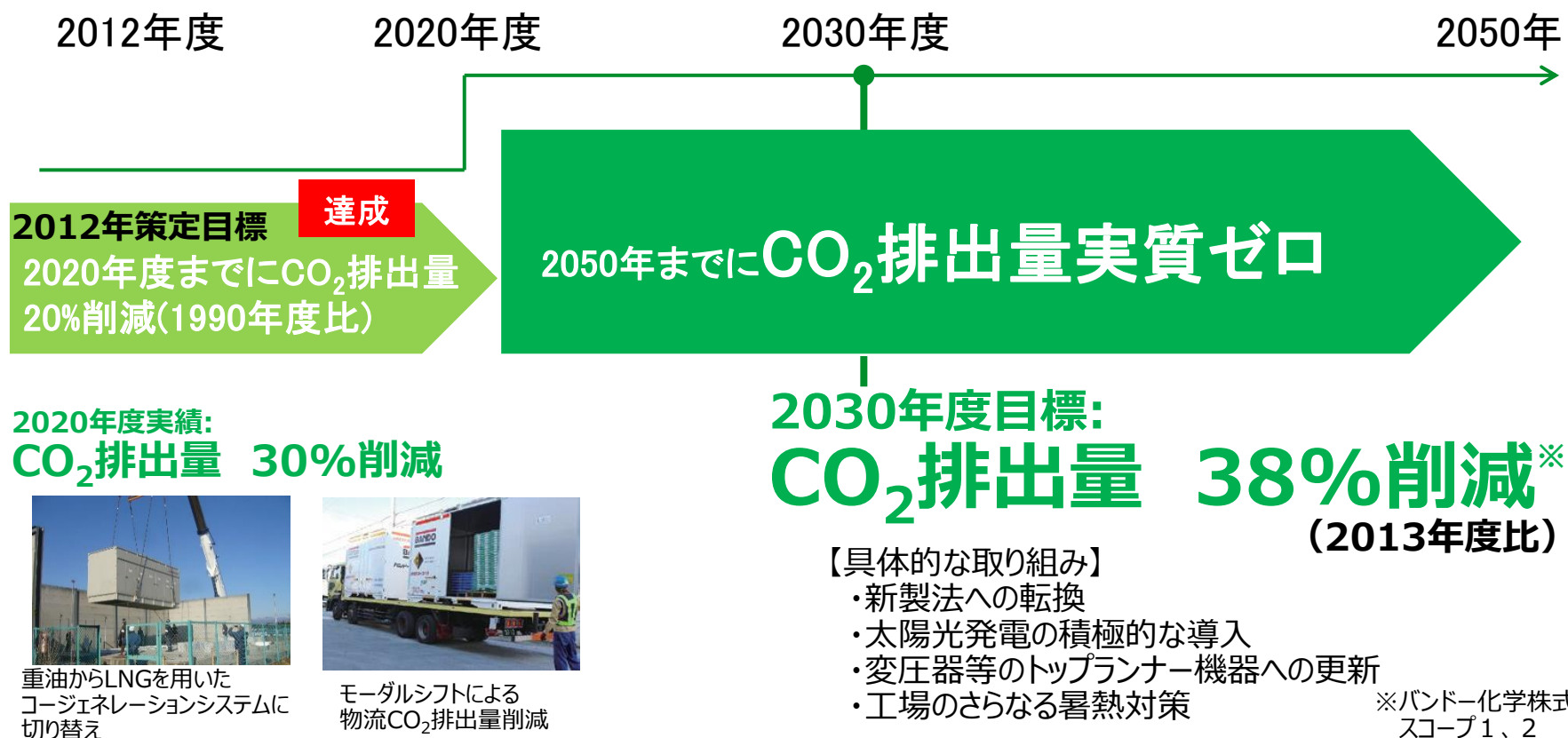
- 多様な働き方への取組みとして、在宅勤務制度の適用範囲を拡大、ワークチン休暇導入
- IT化等、働き方の変化に合わせた業務効率化の推進

人材の育成と獲得

- 海外要員兼次世代リーダー選抜者研修を新設
- 新卒採用者に占める女性割合増加

ESG：カーボンニュートラル実現を目指した目標を設定

- ◆ 2050年までのバンドーグループCO₂排出量実質ゼロを目指す
- ◆ 2030年までに、燃料使用および電力に由来するCO₂排出量を2013年度比38%削減する目標※を設定

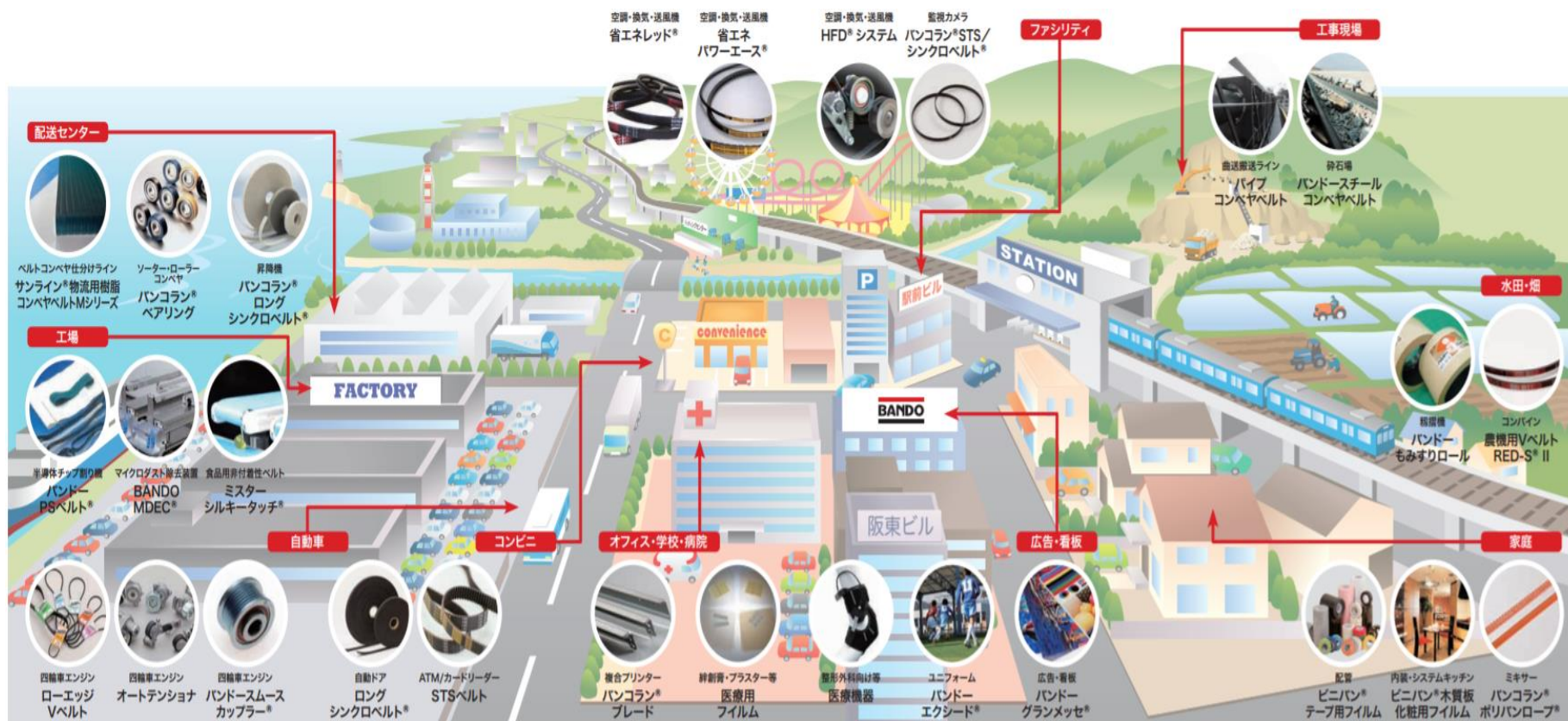


“Breakthrough^s for the
future”

『未来への躍進』

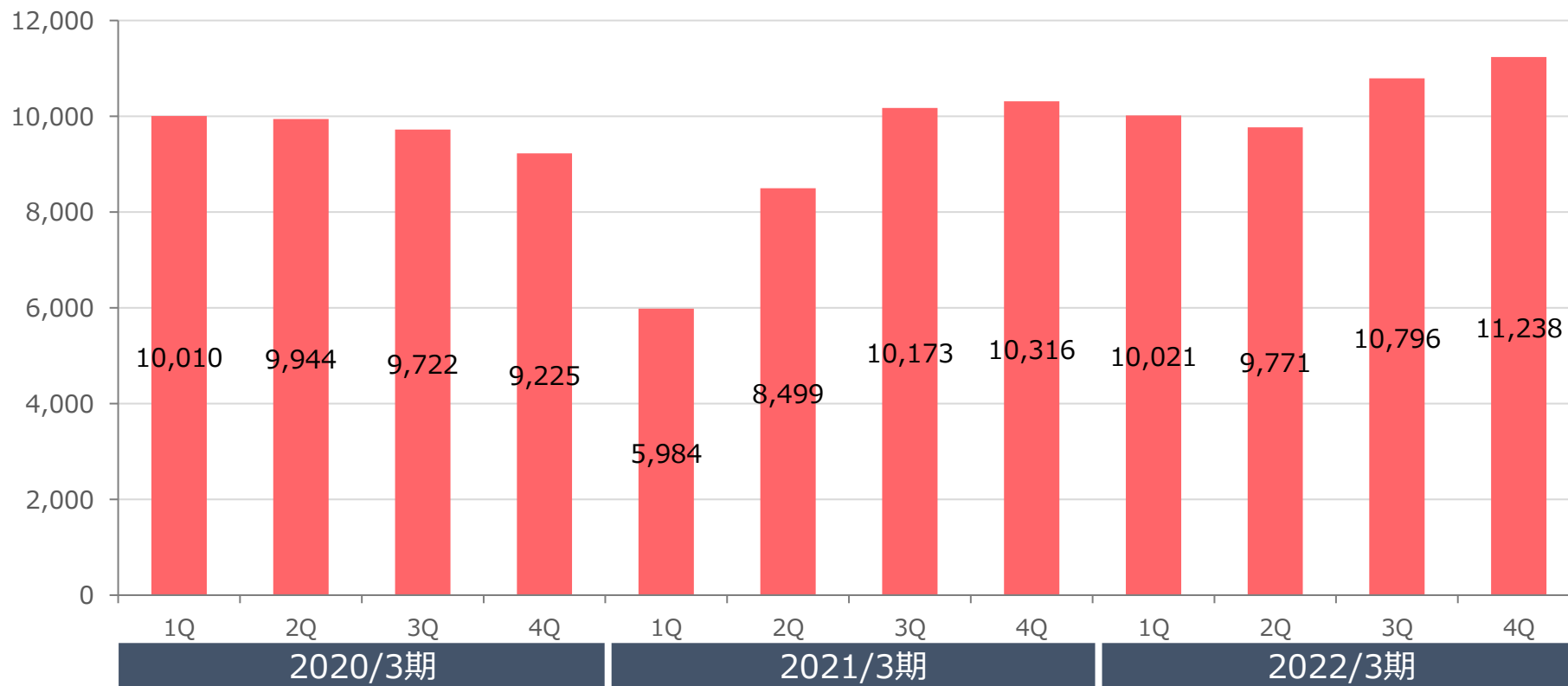
IV. 参考資料

暮らしのさまざまなシーンで活躍するバンドーの製品



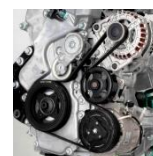
セグメント情報：自動車部品事業

売上収益（百万円）

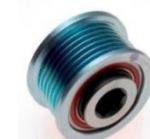


主要製品

自動車用伝動ベルト製品（補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品）、二輪車用伝動ベルト製品（スクーター用変速ベルト）など



●自動車用補機駆動ベルト



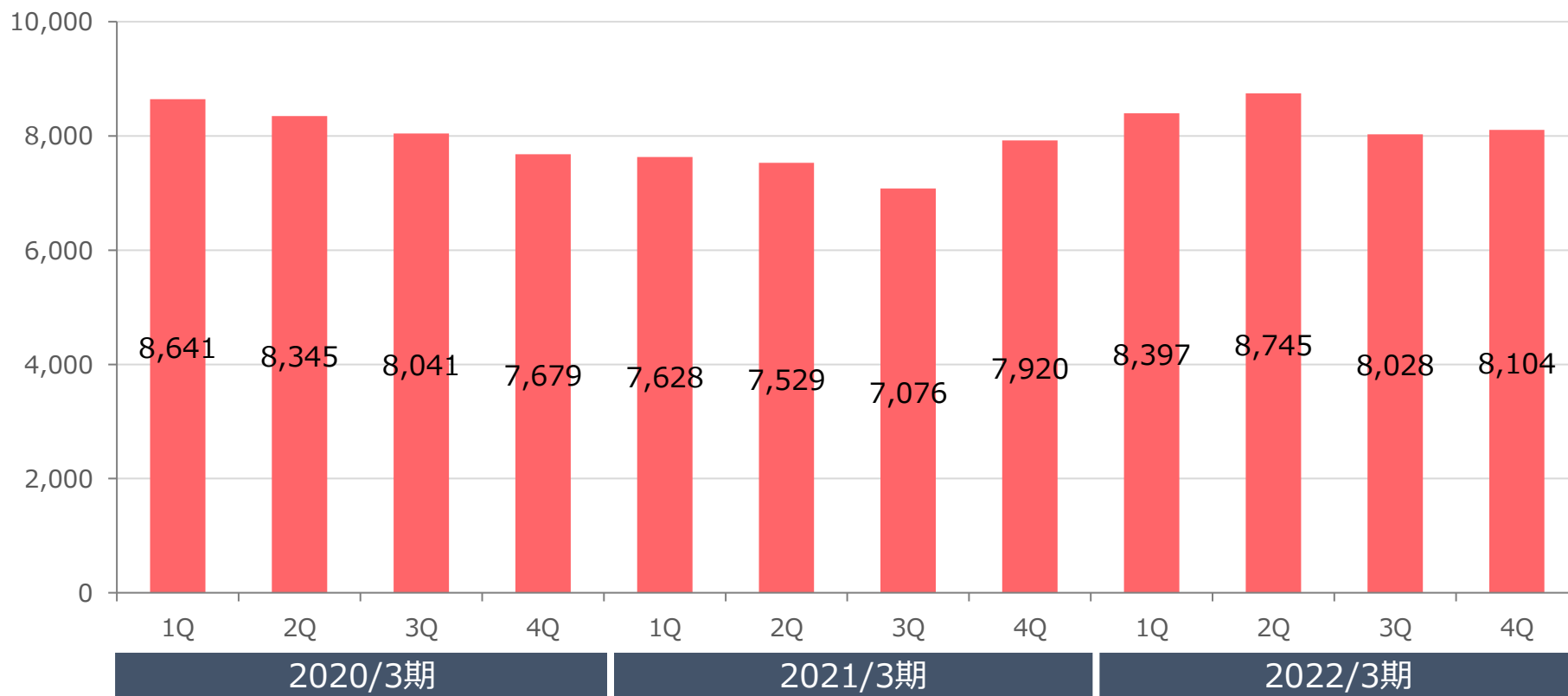
●オートテンショナ



（注）売上収益はセグメント間取引消去後。

セグメント情報：産業資材事業

売上収益（百万円）



主要製品

一般産業用伝動ベルト製品（産業機械用Vベルト、歯付ベルト、プーリなど）、その他伝動用製品、運搬ベルト（コンベヤベルト、樹脂コンベヤベルト、同期搬送用ベルト）、運搬システム製品、もみすりロールなど



●産業機械用駆動ベルト



●農機用駆動ベルト

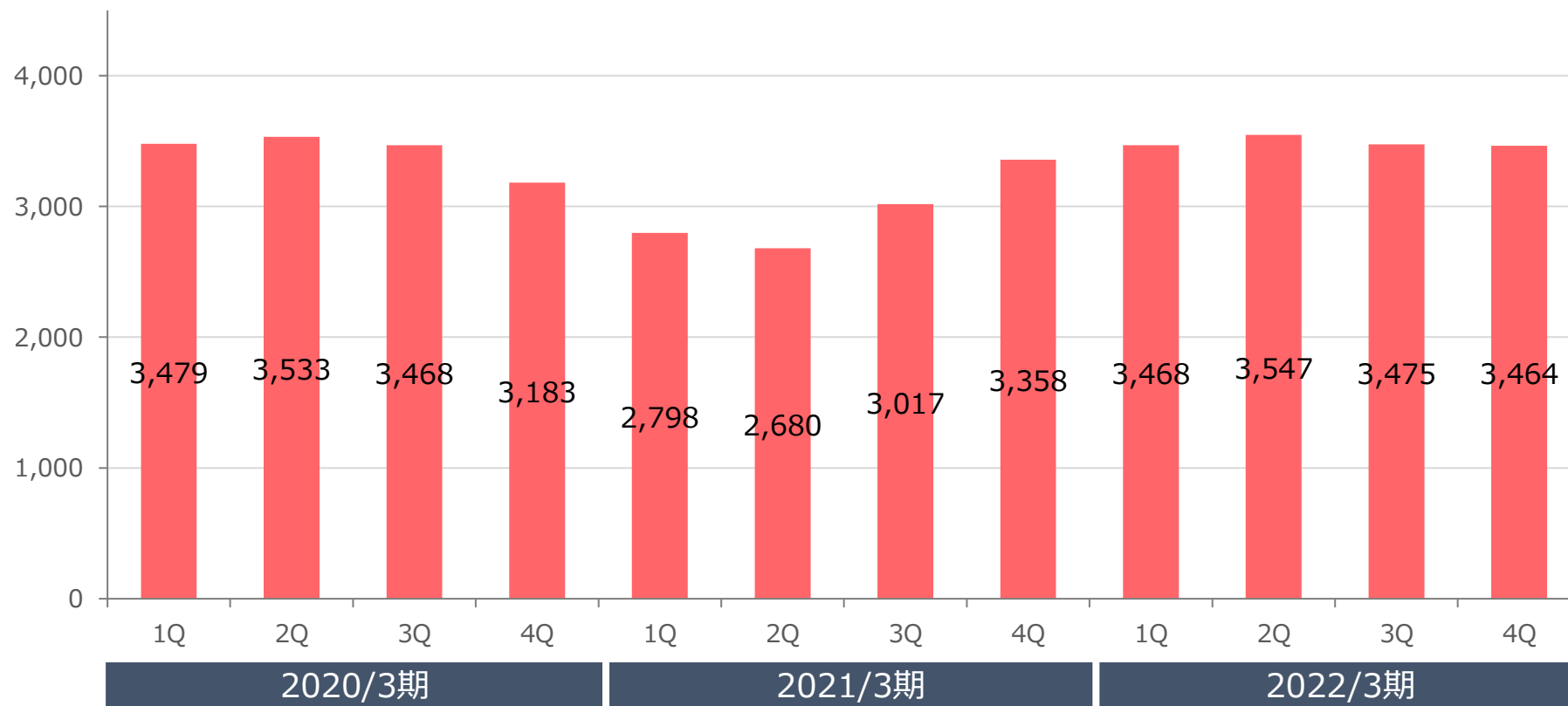


●コンベヤベルト

（注）売上収益はセグメント間取引消去後。

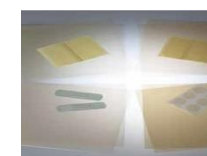
セグメント情報：高機能エラストマー事業

売上収益（百万円）



主要製品

クリーニングブレード、高機能ローラ、精密ベルト、ポリウレタン機能部品、精密研磨材、建築資材用フィルム、医療用フィルム、装飾表示用フィルム、工業用フィルムなど



●精密機能部品製品

●機能フィルム製品

（左：クリーニングブレード 右：高機能ローラ）

（注）売上収益はセグメント間取引消去後。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。